

# 自然系ジュニア学芸員 2016年の実習活動 (1/2)



写真1 収蔵室の温度湿度管理

標本を高湿度によるカビ害等から守るために、毎日温度と相対湿度を測定して記録をし、異常がないかをチェックする。



写真2 「桜山公園で見られる野鳥」の展示替え

姫路市自然観察の森とのコラボ企画展示「いま桜山公園で見られる野鳥」。月替わりで4種の野鳥を展示解説しており、その本はく製と展示解説の交換。



写真3 淡水カメ学の講義

科学館2階バックヤードにある研究室で、現場で淡水ガメ調査・外来生物駆除にあたっている専門家から、より実践的な内容の座学講義を受講。



写真4 淡水ガメ捕獲用「もんどり」の設置

科学館前のため池の上池にはミシシippieアカミミガメが多数生息。どんな種がいるか採集調査するためにもんどりを設置しているところ。



写真5 淡水ガメ捕獲用もんどりの回収

仕掛けたもんどりを講座生同士が協力して引き上げて、かかったカメを、噛まれないように洗濯物ネットに入れて、バケツで研究室に運ぶ。



写真6 ミシシippieアカミミガメの測定

研究室で計測実習をバディを組んで分担し行う。各バディが協力して、採集したミシシippieアカミミガメやクサガメの大きさや重さを測定し、記録する。



## 自然系ジュニア学芸員 2016年の実習活動 (2/2)



写真7 科学の屋台村での「生きもの切り絵」

7月の夏休み最初の土日に行われる科学の屋台村では、講座生たちで「生きもの切り絵」のブースを出し、運営方法や指導方法を実践して学ぶ。



写真8 ツルグレン装置用土壌の管理

2階常設展示で肉眼では観察しにくい土壌生物を展示するため、土壌を耕して、ダニなどの土壌生物が、落葉落枝を分解して増えるようにする。



写真9 野外で播磨の夏のきのこ調査

地域のきのこ専門家を講師に招き、播磨の夏のきのこの観察方法・撮影方法について座学で講義を受け、フィールドで調査・撮影・採集をした。



写真10 採集してきたきのこを図鑑で同定

館周辺の里山で観察できたきのこを撮影したのち、採集して研究室に戻り、図鑑を見ながら専門家のアドバイスを受けてきのこの種を同定する。



写真11 採集したきのこを凍結乾燥標本へ

採集し同定し終わったきのこサンプルを、凍結乾燥機でフリーズドライ標本を作成する。標本ラベルを忘れずに貼り付ける。主に展示用に使用。



写真12 海藻おしばを実演する自然のお話会

野田三千代海藻おしば協会々長の講習を受けたのち、ミル、マクサ、アミグサを使ってデモンストレーションをし、来館者に体験してもらった。